

乳がん・乳がん検診について

乳がんってどんな病気？

女性に一番多いがんで、**40～50歳代**をピークに発症や死亡が増加しており、仕事・子育て・介護など人生の中でも社会的な役割が大きく忙しい時期に罹りやすい病気です。

発症の原因には**遺伝的な体質**の他に、**早い初経年齢**、**遅い閉経年齢**、**アルコール飲料の摂取**、**喫煙**（受動喫煙も含む）、**肥満**などがリスクを高めると考えられています。

検診で早期に発見して治療することにより、乳がんで亡くなることを防ぐことができます。 検診は**自覚症状***がないうちに受けることが大切です。

※しこり、乳房のひきつれ、乳首から血性の液が出る、乳首の湿疹やただれなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。



乳がん検診について

松伏町では、国が「**死亡率を減少させることが科学的に証明された**」**有効な検診**としている**マンモグラフィ**を、国が推奨する方法で実施しています。

乳がんの中には急速に進行するがんもあるため、**40歳になったら2年に1度、継続して受診し、「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査**（マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、針生検下の細胞診・組織診）を受けるようにしてください。

●マンモグラフィ

小さいしこりや石灰化を見つけることができます。乳房を片方ずつプラスチックの板で挟んで撮影します。乳房が圧迫されるため痛みを感じることもあります。生理中でも検査可能です（生理前1週間を避けて受診すると比較的痛みが少ないと言われています）。



マンモグラフィの結果は、二重読影（2名の専門医が診ること）で判定されます。

「乳がん」「がん検診」などの情報についてもっと詳しく知りたい方へ

国立がん研究センターの『がん情報サービス』では、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

がん情報サービス



ganjoho.jp

